

# 日 本 ボ ス ト ン 会 会 報

発行所 日本ボストン会事務局 〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-17-6 Fax03-3792-6776

## ご 挨拶

会長 長島 雅則

この度、日本ボストン会の会長の任を仰せつかりました。よろしくお願いいたします。

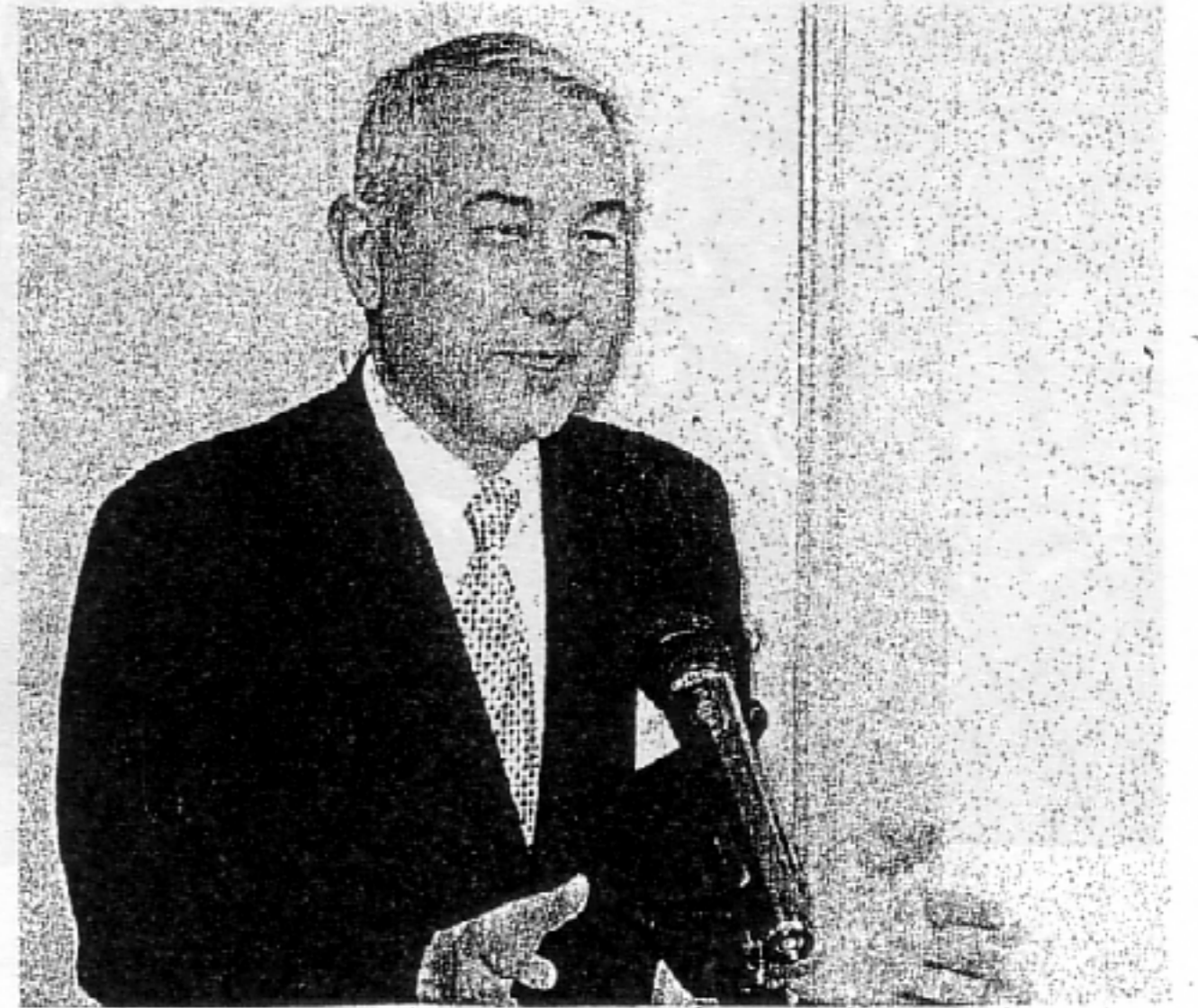
当会は創立 20 周年を超え、その活動も定着してきています。会員の皆様は米国のボストンに関わりを持った方々や、ボストンに興味のある方々です。その方々といろいろな活動を通して、人のネットワークを広げて行くことにより、我々の生活が豊かになるだろうと考えます。そのために微力ながら、お手伝いさせていただき所存です。

私のボストンとの関わりは、1974年にマサチューセッツ工科大学(MIT)の大学院に籍を置いた時に始まります。実際、生活をしていた場所は、ボストンからチャールス川を隔てたケンブリッジでした。当会の創立 20 周年を記念して製作されたホルダーの表紙を飾るボストンの景色は、まさしく MIT からいつも眺めていたボストンの街を思い起こさせる懐かしいものです。

私が初めて米国に着いたのは、ニューヨークでした。20代半ばの若者には、そこは、ある種の恐怖感を抱かせる騒々しい所でした。然しながらボストンにたどり着いた時、そこはニューヨークとは異なり落ち着いた雰囲気、ホッとした親しみを覚えた記憶があります。

MIT では大学院生および技術助手として 2 年半ほど CAD の勉強をいたしました。その後、英国で 5 年間、CAD の開発に携わります。その CAD が日本で使いたいという企業が現れて、1981年に会社を創る事になりました。そして私は日本で CAD の開発・販売の仕事始めて、現在に繋がっています。

一方、CAD の大きな市場である米国でも私が英国で開発に携わった CAD が、80年代に入り実際の設計業務に使われ始めました。その当時、全米一の公共工事といわれた、ボストン市の Central Artery and Tunnel Project(通称 Big Dig)で、この CAD が



(総会における就任挨拶)

採用されました。それまでボストンの街を分断していた幅の広い高架の自動車道が地下に移されたので、ウォーターフロントから街の中心まで、一体感のある綺麗な街に生まれ変わりました。この大きな図面が弊社内に飾られていましたが、やがて倉庫にしまわれて、そして2、3年前に倉庫のスペースの整理のため、この図面を廃棄することになりました。私としては捨てることが出来ず、思案の結果、自宅のガレージの壁に飾っています。我ながら、良いスペースを見つけたと悦に入っています。(別掲、P-19)

さて、この2、3年はボストンを訪れる機会が増えそうです。それは、MIT Alumni Association の Term Board Member (2012July - 2015June) を仰せつかったからです。四半期毎の会議(3回はMITで、あとの1回は米国各地で行われます)に米国を訪れる予定です。今年は、3月(シカゴでの会議)、4月、6月、9月、12月にMITを訪れる予定です。

これから2年ほど、会長として皆様のお役に立てることを願っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

### 日本ボストン会イベント

お花見の会(目黒川)・・・4月 6日(土)	音楽の会(ホームコンサート)6月 2日(土)
美術と歴史の会・・・4月 25日(木)	幹事会・・・6月 14日(金)
ゴルフの会・・・4月 25日(木)	総会・・・11月 15日(金)